

# 広島工大同窓会会報

第19号

広島工業大学同窓会  
佐伯区五日市町三宅  
発行所  
永見憲吾

## “同窓会の再生を願う”



同窓会長 永見 憲吾

同窓会結成後、まもなく20周年を迎えようとしています。ヨチヨチ歩きの幼児期から一步一步前進していく人のように、ひとつの組織は多くの人達の並々なぬ努力によって完成していくものと思います。過去の先輩諸氏のご努力の過程においてひとつひとつの問題が提起されその解決によって基本的組織が出来上がって参りました。以前“青年期の同窓会”という表現をいたしました、これからは青年期の活動としての新しい目標と歴史を作り出していかねばなりません。そこで今年の組織拡充代表者会議及び総会において既に提示したいいくつかの努力目標を下記に掲載いたしますが、共に考えて下さりご協力を願えれば幸いです。

1. 各県単位を中心とする同窓会の全国ネットワークの確立

1万5千人に及ぶ同窓会員を各県単位にふり分ける作業が本年5月末に完了し、本年度中に県単位の支部組織を確立したいと願っております。そこで支部組織の役員に推薦されましたときには、是非ともご協力下さるようお願い致します。

2. 同窓会本部事務制度の確立

昨年末より事務局に専任事務員を置き、組織の要ができましたのでこれから制度の確立を考えて参りたいと思います。

3. 同窓会本部と支部及び母校との連携について前記の事務制度の確立と共にこの連携も一緒に考えて参りたいと思います。

4. 同窓会名簿の電算化について

20周年の記念誌として本年度中にコンピュータ化を実施すべく現在母校と共同作業中であります。

5. 鶴学園30周年記念事業への協力

母校は30周年記念事業として体育館、新1号館の建設に着手されようとしております。我々同窓生で出来ることは金額の多少に拘わらず募金推進への協力であると思います。引き続きご協力の程お願い申し上げます。

6. 本会20周年記念行事の検討

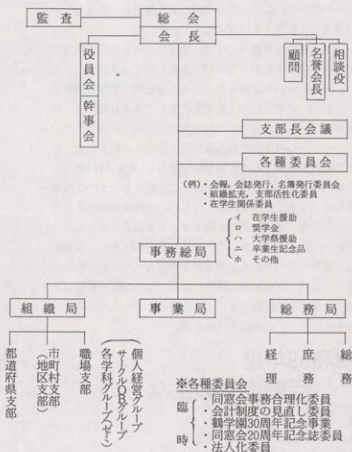
記念誌発行をはじめ上述の項目が最大の記念に

なると思いますので、本年度中にできるだけの方向性を見出すべく最大の努力を払いしたいと思います。

以上6項目の努力目標を掲げましたがその他にも考えなければならない項目がたくさんあると思います。どちらにしても組織の活性化は同窓会員の総会など会合への参加及び母校の教職員の協力関係なしには実現できるものではないと感じております。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に広島工大同窓会本部組織図の案を掲載いたしますので皆様方からのご意見をいただければ幸いです。

### 広島工大同窓会本部組織図(案)



## 第20回 定期総会報告

第20回定期総会が去る4月29日広島校舎において開催された。

総会はまず永見会長の挨拶で始まり、つづいて名誉会長の吉田学長から母校の現状についての説明があった後、顧問の山本先生のご挨拶をいただいた。この中で総会がもっと盛会になるために総会開催日を検討すること、また息の長い活動を続けていくことなど有意義なアドバイスをいただいた。

議事は議長に昭和45年機械工科学卒の坂本氏を選出し、昭和59年度活動報告、昭和59年度会計報告など議題の順に滞りなく進められ閉会した。引き続き母校の各学科主任教授、恩師さらに各局の職員等多くの教職員の参加の中で同窓会員との懇親会が2階大広間で開催され、盛会のうちに終了した。以下に総会の要約を述べる。

本会は今年が創立20周年という記念すべき年を迎え、議事ならびに話題もこのための記念事業についての内容が中心となった。

記念事業としては、記念誌の発行、記念総会ならびに講演会の開催、鶴学園創立30周年記念に対する寄付、奨学制度の見直し、さらに各県単位での支部の結成とその横の連絡を結んだ全国支部組織の確立が決定された。また、今まで懸案となっていた同窓会名簿の充実と、その処理の電算化も決議いただいた。この名簿は記念事業の一環として、会員各位に配布する予定になっている。

記念事業の予算については、単年度では執行が困難なので、次年度にまたがって執行することが了承された。

一方、これらの議題とともに通常の活動、すなわち支部への援助、在学生援助、奨学制度等も了承された。特に懸案事項の一つとなっていた同窓会の活性化、合理化について、その一つの方法である事務室の確立が承認された。現在専従の事務員として若尾さんを採用し、連絡、資料整備、名簿訂正管理、さらには通常のお金納納など今まで学内幹事の行ってきた雑務を執行してもらい、幹事は将来の活力ある同窓会組織のための企画に専念できるようになった。

最後に役員改選において、永見会長が再任され、本会20周年事業への取り組みと活力ある同窓会への努力の決意が述べられた。本会20周年事業に対しては中西新幹事長以下学内の全幹事総動員のもとで全会員とともに成功させることを基調として会が締め括られた。

文化局第19回定期演奏会、剣道部、アーチェリー部、ヨット部の全国大会遠征援助

8月 長崎県支部総会出席(19号会誌参照)

9月 同窓会奨学学生選考(10名 36万円支給)

自動車部の全国大会遠征援助

10月 工大祭への援助(40万)

11月 徳島県支部母校見学ツアーへ出席(19号会誌参照)

12月 事務室制度の確立(専従事務員をおく)

香川県支部(讃岐会)への援助

1月 学園30周年記念行事への参画

写真部学外写真展、マンドリン部新人演奏会への援助

2月 第3回組織拡充代表者会議開催(2月24日、於、広島校舎)

3月 広島市役所支部結成

会誌発行(1万4,500部発行)

放送部追出しコンサート(かわいホール)への援助

名簿発行(1,100部)

卒業生への記念品(卒業写真)

## 昭和59年度 検討事項

1. 事務室制度の確立(専従事務員をおく)  
12月1日より若尾さんに来ていただいている。
2. 同窓会名簿の電算機による処理  
昭和60年度から実施できる予定
3. 本会20周年記念行事の検討  
記念誌発行、記念総会、記念講演会、学園への寄付、全国支部組織の確立、同窓会奨学制度の見直し(昭和60年度に実施)
4. 鶴学園30周年記念事業への協力  
募金推進に協力
5. 全国支部組織の設立への検討  
県単位の支部を全国に設置、本部と支部の関係の明確化

## 昭和60年度 活動方針

1. 同窓会20周年記念事業
  - ◎ 記念誌の発行、記念総会、記念講演会、学園への寄付、全国支部組織の確立、奨学制度の見直し
2. 同窓会名簿の電算化の実施
3. 同窓会事務内規の検討
4. 同窓会組織の見直し
  - ◎ 将来、法人化することを目標として

## 昭和59年度

### 活動内容の主なもの

- 4月 総会開催
- 5月 体育祭への援助(30万円)
- 7月 会報発行(1万2,000部発行)

## 幹事長挨拶



同窓会20周年にあたる意味ある年の幹事長をおおせつかることになり、その重みを感じております。会の歳から考えると、丁度それは我々の成人式の年にあたり、『何かをしてあげようといった意識からあたるかもしれません。』

本年度は20周年でありますので、従来からの活動に加え、20周年記念事業—記念誌の発刊、記念総会と記念講演、在学生への奨学金制度の見直し、会員名簿の充実と電

## 幹事長中西助次

算化、同窓会活性化のため組織の見直しと支部結成、同窓会事務室の充実そして学園30周年記念事業への寄付活動—が企画され、検討実行されつつあります。事業内容からして、これらは現同窓会の基礎的力を測るバロメーターであり、また、今後のさらなる会の発展のための根幹となるものと考えています。

私共幹事一同精一杯の努力を払う所存ですが、会の発展は少数の役員によるところは少なく、15,159名の会員の皆さまの一致協力のもとになされるものと確信しています。種々の点で、より一層の御協力を願う次第です。

## 昭和60年度同窓会役員

会長 永見憲吾(子)  
副会長 荒川寿一(土)、道田憲治(経)  
幹事長 中西助次(機)  
副幹事長 伊藤秀敏(土)、玉野和保(子)  
会計 松広 斎(経)、砂田謙二(子)  
沖根光夫(気)  
会計監査 手越義昭(建)、橋田好弘(機)  
書記 吉山美佐子(経)、大林 真(建)  
幹事 (子)川畑敬志、村田弘志、重広孝則、  
片山剛之丞  
(気)猪上憲治、原田義治、湯尻 照  
(機)小西正明、松江孝博、森滝美治郎、  
古川博仁、吉田和信、夜船育夫、

幹事 (機)森本尚久、  
(土)菅 雄三、田原和彦、村中昭典  
(建)菅原辰幸  
(経)近宗 貴、広重 隆、西田弘展、  
西野達夫、福永 保  
評議員 (子)栗栖律郎、八幡文伍、上岡洋史  
(気)松原昌弘、森本房義  
(機)猪原憲昭、砂原照雄、杉島民雄、  
大藤英寿  
(土)船倉 宏、三浦勝行  
(建)森田洋生  
(経)岡本世紀、峠 孝司、大田喜穂

## 昭和59年度会計報告

(昭和59年4月1日  
昭和60年3月31日)

〔決算〕

(単位:円)

項目	収入	支出	残高
昭和59年度 総収入	14,725,880		
昭和59年度 総支出		9,336,522	
合計	14,725,880	9,336,522	5,389,358

〔資産の部〕

基金: 74,459,710円

〔収入の部〕

(単位:円)

項目	決算額
昭和58年度繰越金	522,083
入会金 1,004 × 2,000	2,008,000
終身会費 842 × 13,000	10,946,000
総会費 65 × 2,000	130,000
広告料	549,000
雑収入(寄付金等)	349,500
預金利息	221,297
合計	14,725,880

## 〔支出の部〕

(単位：円)

項 目	予 算	支 出	残 高	項 目	予 算	支 出	残 高
会誌発行費	3,330,000	2,982,380	347,620	会議費	250,000	79,412	170,588
会報発行費	1,350,000	994,950	355,050	役員手当	82,000	65,000	17,000
名簿発行費	1,300,000	1,100,000	200,000	調査費	100,000	0	100,000
総会開催費	900,000	483,550	416,450	備品費	50,000	0	50,000
支部費	300,000	157,100	142,900	委託費	700,000	582,170	117,830
在学生援助費	1,300,000	866,000	434,000	奨学金繰込金	382,000	382,000	0
卒業記念品代	600,000	450,300	149,700	鶴奨学会寄付金	100,000	100,000	0
通信費	200,000	148,985	51,015	組織拡充代表者 会費	700,000	490,625	209,375
消耗品費	400,000	392,770	7,230	予備費	1,403,083	10,000	1,393,083
交通費	260,000	51,280	208,720	合 計	13,707,083	9,336,522	4,370,561

## 昭和59年度 同窓会奨学会計報告

(単位：円)

項 目	収 入	支 出	残 高
基 金	5,284,896		
繰 込 金	382,000		
利 息	188,484		
奨 学 金		360,000	
合 計	5,855,380	360,000	5,495,380

## 昭和60年度 予 算

〔収入の部〕

(単位：円)

項 目	予 算	記 事
昭和59年度繰越金	5,389,358	
入 会 金	1,754,000	877 × 2,000
終 身 会 費	11,310,000	870 × 13,000
総 会 会 費	160,000	80 × 2,000
広 告 料	350,000	
雑収入(寄付金等)	100,000	
預 金 利 息	100,000	
合 計	19,163,358	

(支出)

(単位:円)

項 目	予 算 額	項 目	予 算 額
記念会誌発行費 (名簿を含める)	9,000,000	卒業 記念品代	600,000
印 刷 費	6,170,000	通 信 費	200,000
郵 送 費	2,800,000	消 耗 品 費	400,000
交 通 費	30,000	交 通 費	260,000
会 報 発 行 費	1,350,000	会 議 費	250,000
印 刷 費	400,000	役 員 手 当	82,000
郵 送 費	920,000	会 計	15,000
交 通 費	30,000	会報発行責任者	2,000
総 会 開 催 費	900,000	会誌発行責任者	5,000
懇 親 会	750,000	名簿発行責任者	5,000
交 通 費	100,000	支部担当責任者	5,000
諸 費	50,000	そ の 他 (日 当)	50,000
支 部 費	300,000	調 査 費	100,000
組 織 拡 充 代 表 者 会 議 (仮 称) 会 議 費	700,000	備 品 費	50,000
会 議 費	150,000	委 託 費	1,500,000
交 通 費	150,000	奨 学 基 金 繰 込 金	734,000
懇 親 会 費	400,000	鶴 奨 学 会 寄 付 金	100,000
在 学 生 援 助 費	1,300,000	予 備 費	1,337,358
工 大 祭	400,000	合 計	19,163,358
体 育 祭	300,000		
ク ラ ブ 援 助 費	600,000		



## 大学だより



〔工学部〕

〔男女共学〕

電子工学科…… 120名    電気工学科…… 120名    機械工学科…… 230名  
土木工学科…… 120名    建築学科…… 230名    経営工学科…… 120名

# 広島工業大学

## ◎ 61年度 推薦入学制新設 (非指定校) ◎

## 〔61年度入試要項〕

入試概要	推薦試験	一般試験
試験日	11月24日(日)	2月2日(日)
出願期間	11月6日(水)～ 11月16日(土)	1月13日(月)～ 1月25日(土)
合格発表	12月4日(水)	2月12日(水)
試験地	本学(広島)・ 岡山・松山・ 福岡	本学(広島)・ 大阪・岡山・ 松山・福岡
試験科目	数 学	数学Ⅰ, 代数・幾何, 基礎解析
	理 科	物理 } どちらかを選択 化学 } (いずれも理科Ⅰの当該 分野を含む)
	外国語	英語Ⅰ, 英語Ⅱ

## 〔卒業後の取得資格〕

1. 教員免許  
卒業生は、在学中に教職課程を修得することにより、高等学校教諭2級普通免許状(工業)の交付を受けることができる。
2. 電気事業主任技術者  
電気工学科の卒業生は、在学中に指定された授業科目を修得し、卒業後所定の実務経験を経ると、電気事業主任技術者免許状が取得できる。
3. 電気工事士  
電気工学科の卒業生は、在学中に指定された授業科目を修得することにより、電気工事士試験のうち学科試験が免除される。
4. 測量士補・測量士  
土木工学科の卒業生は、所定の単位を修得すれば卒業と同時に測量士補の無試験登録、卒業後1年の測量実務を経ると、測量士の無試験登録ができる。
5. 建築士  
建築学科の卒業生は、卒業と同時に二級建築士試験及び木造建築士試験を、また卒業後2年以上建築に関する実務に従事した場合は、一級建築士試験を受験できる。  
土木工学科の卒業生は、卒業後1年以上建築に関する実務に従事すると二級建築士試験及び木造建築士試験を、また卒業後2年以上建築に関する実務に従事した場合は、一級建築士試験を受験できる。
6. その他  
卒業生は、上記以外の国家資格試験において、受験資格が与えられるもの、あるいは、試験科目の一部が免除されるものがある。

## 〔奨学制度〕

名 称		支 給 額	返還義務
鶴学園特待生		授業料全額免除	無
(財)鶴奨学会		(年額) 54,000円	無
広島工業大学同窓会		(年額) 36,000円	無
日本育英会	58年度以前入学者	一般	(月額) 27,000円
		特別	自宅(月額) 29,000円 自宅外(月額) 39,000円
	59年度入学者	第一種	自宅(月額) 31,000円
		第二種	自宅外(月額) 41,000円
			有(有利子)

その他、地方公共団体・民間育英団体の奨学制度がある。

## 〔お問い合わせ先〕

〒731-51 広島市佐伯区五日市町三宅725

TEL (0829) 21-3121(代)

## 広島工業大学 入試係

## 諸報

## 叙勳

○広島工業大学

勲三等旭日中綬章 佐々木右左 教授

勲五等瑞宝章受章 河内 義就 教授

名誉教授称号授与

(昭和60年4月1日付)

○広島工業大学

名誉教授 竹野 兵一郎

名誉教授 縄田 二郎

名誉教授 佐々木 右左

名誉教授 大脇 健一

## 学位授与

○広島工業大学

電子工学科 玉野 和保

学位の種類 工学博士

授与年月日 昭和60年1月10日

論文名 「帯電による液滴粒径分布測定法に関する研究」

授与大学 広島大学

## 学園だより

## 広島工業大学 応援歌 募集

広島工業大学 学長 吉田 亜夫

学園創立30周年記念といたしまして、学生時代の愛唱歌としていつまでも心に残る応援歌を、皆様方より下記の要領で募集いたしますので、ふるってご応募くださるようお願い申し上げます。

## 記

## 1. 応募規定

- 資格……卒業生・在学生、および学園教職員
- 作品……長さは、3番程度の応援歌にふさわしい内容のもので、歌詞のみでも曲つき歌詞でも結構ですが、必ず自作未発表に限ります。

なお、採用された作品の著作権は、すべて大学に帰属し、作詞、作曲の一部変更もあり得ることをご承知ください。原稿は返却いたしません。

- 応募簿数……ひとり2編以内(B5判400字詰原稿用紙をご使用ください)
- 締切……昭和60年12月20日(当日消印有効)
- 宛先……住所、氏名(ペンネーム使用の人は必ず本名をそえる)、電話番号の他に、卒業生は勤

務先と卒業学科および卒業年次、在学生は所属学科と学年を明記し、封筒の表に

「応援歌在中」と記入の上、次の宛先に郵送してください。

〒731-51 広島市佐伯区五日市町三宅725

広島工業大学記念事業事務局

TEL(0829)21-3121(内線201)

## 2. 入選発表

応募作品の中より、入選2編、佳作3編を選歌し昭和61年秋に行われる予定の記念式典で発表するとともに、本人に直接通知いたします。選歌の可否についてのお問い合わせは、ご遠慮願います。

## 3. 賞

入選 各20万円

佳作 各5万円

(応募者には記念品を贈呈いたします)

## 文化局だより

今年も文化局主催によります恒例のイベント、芸術展と定期演奏会が以下の通り行われました。

芸術展は6月20日～23日までの4日間、今回は例年行われている県立美術館から場所も新たに県民文化センターに移り、美術部、書道部、写真部が作品の展示を行いました。又、6月22日には、日立ファミリーホールに於いて、映画研究部、放送部、A.I.C.の3サークルが各自の作品を発表し合い、成功のうちに終了しました。

定期演奏会(LIGHT MUSIC CONCERT)は7月1日に郵便貯金会館ホールに於いて開催されました。今年でこの定演も20回目を迎えて、局員一同これを1つのStepとして今後とも頑張っていきたいと思っております。

これらの2つの大きな行事を行い工大生の文化を一般の人たち及び工大生に広くアピールしました。

今、我々文化局及び文化系サークルは秋の工大祭に向けて夜遅くまで準備していますので近くに用事がありましたら、是非クラブハウスの方まで遊びに来て下さい。



## サークル紹介

	サークル名	学生代表	電 話	サークル名	学生代表	電 話
体	柔 道	西野 公司	(0829) 22-4561	空 手	村山 昌彦	(0829) 21-0449
	剣 道	水戸 正和	(082) 244-0532	ボクシング	岡信 勝利	(0824) 34-0777
	弓 道	仙 蒼竜也	(0829) 21-2991	ヨ ッ ト	佐上 真一	(082) 879-7601
	合 気 道	武内 哲也	(0829) 22-7109	ス キ ー	小川 誠	(0823) 72-4039
	少 林 寺	林 弘幸	(0829) 31-0823	自 動 車	宮本 誠司	(08266) 4-2670
	重 量 挙	大橋 秀之	(0829) 23-4868	ラ グ ビ ー	兼近 裕丈	(0829) 21-0279
	ア ー チェリー	居藤 滋樹	(0829) 22-3621	ユースホステル	小川 和重	(0829) 32-0205
	水 泳	西村 純一	(0823) 82-5876	山 岳	青木 勝洋	
	陸 上	松浦 知之	(0829) 22-3548	サイクリング	広川 克成	(0829) 23-2669
	バ ス ケ ッ ト	山中 正義	(0829) 21-0982	ワンダーフォーゲル	木村 孝	(0829) 22-3921
育	硬 式 野 球	紺田 和夫	(082) 237-0108	ス ケ ー ト	岩切 俊介	(0832) 56-5613
	軟 式 野 球	栗田 健史	(0829) 22-7109	バドミントン	市木 庸公	(0827) 22-5443
	卓 球	丸本 貴史	(0829) 23-1738	正 道 術	小笠原 誠二	(0829) 22-5509
	ハ ン ド ボ ー ル	平田 勇司	(0829) 22-7109	エスキーツニス	河野 登	(082) 232-4668
	硬 式 庭 球	井上 茂樹	(0829) 22-0838	ゴ ル フ	後河内 健二	(082) 241-8271
	軟 式 庭 球	伊勢坊 実	(0829) 21-1236	射 撃	藤川 雄三	(0824) 22-5708
	ボ ー ト	西田 俊明	(0829) 38-0663	馬 術	中野 淳一	(082) 822-6371
	サ ッ カ ー	林田 啓吾	(0829) 39-1661	ビラスキー	丸山 勝己	(0824) 28-5080
	バレーボール	矢掛 英樹	(0829) 21-1486	モーターサイクル	井上 善照	(0829) 23-3496
	系	科 学 部	山本 孝	(0829) 56-1429	グリークラブ	川口 一広
無 線 部		久保川 淳司	(082) 877-3335	マンドリンクラブ	井原 務	(0829) 22-3273
基 礎 理 論 学 研 究 部		小島 修二	(0829) 22-5509	軽音楽部	楠 繁之	(082) 892-1365
鉄道研究部		大道 英二	(082) 874-3905	囲碁将棋部	藤山 道徳	(0829) 22-4899
美 術 部		森下 雅夫	(0829) 21-3384	E. S. S.	月待 忠則	(08266) 5-3995
書 道 部		清川 伸二	(0829) 22-4037	茶 道 部	川畑 秀貴	(0823) 73-0557
写 真 部		寅丸 健造	(0829) 23-6294	落語研究会	福地 寅也	(082) 293-1873
映画研究部		山本 光広	(082) 822-1078	吟道同好会	戸川 定彦	(0823) 33-9656
放 送 部		戸倉 賢治	(0829) 31-0561	生物研究愛好会	橋詰 幸司	(082) 239-0617
A. I. C.		白石 健一	(082) 872-1068	天文研究会	杉本 辰也	(0829) 28-6466
系	フ ォ ー ク 部	富松 正義	(0829) 54-2556	アイディア研究会	伊野 文人	(082) 245-4807
	ロ ッ ク 部	鼻岡 浩樹	(08267) 8-0431	赤十字奉仕団	伊藤 毅	(0829) 21-1993



# 体育会だより

## 第24回体育祭

体育会本部長 松若 光明

第24回体育祭が5月17日より開催されました。あいにく雨による競技等の延期がありましたが無事終了いたしました。

今回は、テーマを「BE FREE BE ACTIVE./」と致しまして学生の奮起を願いました。そのために各種目は、もとより、クラス、または学科全体で楽しめる競技としてサバイバル騎馬戦、棒上放撃等の新企画を行いました。参加人数がいま一つ少なかった事が残念でした。

しかし、より沢山の学生が楽しめる体育祭となるには、学生の意識改善および体育会の試行錯誤による努力継続がこれからも課題となるでしょう。



### 結果報告

- 総合優勝 土木工学科, 2位 経営工学科,  
3位 建築学科A
- クラス別優勝 建築学科A 2年, 2位 経営工学科4年  
3位 土木工学科2年
- サッカー 1位 建築A 2年 2位 土木4年  
3位 建築A 4年
- バレー 1位 建築A 1年 2位 建築A 4年  
3位 経営4年
- バスケット 1位 建築A 2年 2位 電気3年  
3位 建築B 4年
- ソフト 1位 建築A 2年 2位 電子1年  
3位 経営3年
- テニス 1位 教員 2位 土木2年 3位 土木4年
- 卓球 1位 経営4年 2位 経営3年  
3位 機械B 4年
- リレー 1位 土木2年 2位 土木1年  
3位 電気1年

### クラブの問題点

体育会が、設立されて10年が過ぎようとしています。

その中で各クラブは日々の練習、地道な努力によって着々とその成果を積み上げて来ました。しかし現在、入部員数の減少、個人による金銭負担が各クラブでおおよそ共通の問題となっています。このままでは、選手層は薄くなりまた、技術の蓄積も十分でなくなり試合での成果も芳しいものが期待できなくなってしまいます。

問題の軽減のために体育会といたしましては、大学側と問題解決の協議をして行こうと思います。また、OBの方々の御協力も大切な要因となります。私はここでOBの方々の絶大なバックアップ体勢が必要であることを言います。つまり学生は大学においては通過団体ですから高度な技術が要求される現在各クラブでは技術の修得が精一杯となりレベルアップや技術の蓄積などにおいては全く難しい事となって来ている訳です。それを補うにはOBの方々による御指導を仰ぐ他に方法はありません。それに殆どどのクラブでのOB数はほぼ100名前後おられると思いますがみなさまの少しずつの援助(金銭的)でずいぶん負担が減ります。

このようにOB会はクラブにとりまして大変に重要であると言えます。現在OB会の有るクラブもありますが、無いクラブもあり体育会設立10年を期といたしましてOB会の無いクラブにはOB会の編成を、また有るクラブにおきましても一層の結束を願ひ、各クラブを指導しておりOBのみなさま方にご迷惑をおかけするとは思いますがよろしくお願ひいたします。

広島工業大学のクラブが強くなって欲しい、また素晴らしい人間を育てたいと願うのは、私共も同窓会の方々におかれましても同じだと思います。これからもより一層の御指導、御鞭撻の程、よろしくお願ひいたします。

# 同窓会本部だより

北から南から

支部だより

### ◎職場支部として

“広島市役所E<sup>2</sup>M会結成”される。

この昭和60年3月1日(金)の午後6時より広島市平和公園内にある市公会堂の1階のレストランにて広島市役所勤務の25名参加のもと、母校広島工科大学長吉田垂夫先生、学生部長中村正孝先生と同窓会本部より会長代理として同窓生で支部担当幹事をしての機械工学科小西正明先生の3名が出席し、支部発会を祝しながら、近くに居りながらご無沙汰ばかりのお互いが10数年ぶりの再会を喜び合い、ともにこれからさらにガンパってゆこうとお互いに励まし



合い、学園創立30周年を迎える母校のますますの発展を願いながら楽しいひとときを過ごしました。

### ◎支部結成の呼びかけ、

全国つつ浦々に!!

このたび地区別会員数の確認、整理され、全国ネットワークの準備着々と進行中

表1 広島工業大学同窓会地区別会員数

S.60.5.22現在

関東地区	東京都	526	栃木県	6	1,082
	神奈川県	277	埼玉県	102	
	千葉県	120	群馬県	9	
	茨城県	38	山梨県	4	
信越地区	長野県	14	新潟県	10	24
東海地区	静岡県	45	愛知県	107	163
	岐阜県	4	三重県	7	
近畿地区	滋賀県	31	奈良県	50	1,144
	大阪府	626	和歌山県	22	
	京都府	72	兵庫県	343	
中国地区	鳥取県	122	広島県(市内)	6,980 (3,640)	8,809
	島根県	282	山口県	929	
	岡山県	496			
四国地区	香川県	279	高知県	98	1,312
	徳島県	131	愛媛県	804	
九州地区	福岡県	224	大分県	127	618
	佐賀県	17	宮崎県	44	
	長崎県	75	鹿児島県	85	
	熊本県	46			
北陸地区	福井県	1	富山県	3	5
	石川県	1			
東北地区	福島県	1	宮城県	6	7
北海道		5	国外	5	15
	沖縄	5			
合計				13,179	

表1に本年5月22日現在の地区別会員数の状況を示す。表1より、やはり地元広島に約5割の同窓生がおり、そのうち広島市内に半数が居ることがわかる。山口、岡山といった中国地区に、そして関東、関西にて多くの同窓生がともに“広島工大の光”として光り輝くべく元気に活躍しているようすがよくわかる。

全卒業生数は15,159人と1万5千台を越えてきているように、年ごとに各地の同窓生数が増し、たとえば広島市役所も五日市町が佐伯区となり約300名近い同窓生が市職員として各立場で活躍しています。

### ◎同窓会支部結成の呼びかけ!!

県、職場支部結成気運各地でもりあがりつつあります。

支部結成のために心要とされる手続き方法、今までの会報・会誌に紹介、支部結成の気運が生じた時にはすぐ母校同窓会本部事務室にご連絡下さい。

支部結成のための連絡場所

〒731-51 広島市佐伯区五日市町三宅725

広島工業大学同窓会本部事務室

TEL 0829-21-3121 (内線570)

文責(小西正明記)

### 同窓会奨学金資金募集

1. 金額：1口 1,000円
2. 送付方法：郵便振替口座番号 広島5956 書留その他
3. 送付先：〒731-51 広島市佐伯区五日市町三宅  
広島工業大学同窓会奨学金係

#### 同窓会奨学金の寄付のお礼

現在の同窓会の活動を今後同じように続けていくならば財政的に苦しくなることが、今度の総会で会長から述べられました。そうした折に、同窓会奨学金の充実、発展のために、会員の皆様からの寄付を賜わり、役員一同の大きな希望となっております。心から御協力に感謝いたしますとともに、今後ともよろしく御願ひ申し上げます。

### 同窓会々員名簿について

同窓会々員名簿(昭和60年3月発行)のご入用の方は、ハガキに下記の必要事項をご記入の上、同窓会事務室にお申し込み下さい。

送料は同窓会で負担致します。

金額 1冊 1,500円  
記

- ・送付先住所
- ・氏名
- ・卒業年度
- ・卒業学科